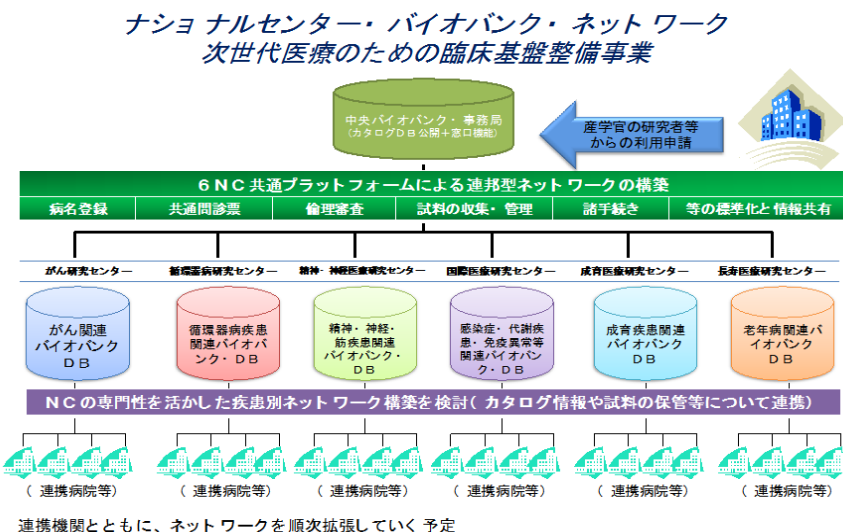


国立高度専門医療研究センター(ナショナルセンター:National Center)は、国民の健康に重大な影響のある特定の病気を解明し克服することを使命としています。

「新たな医療の創造」に向けて6つのNCが協力して取り組む、バイオバンクネットワーク事業の概要(血液・組織等の収集・保管、研究のための手続き整備など)をご紹介します。

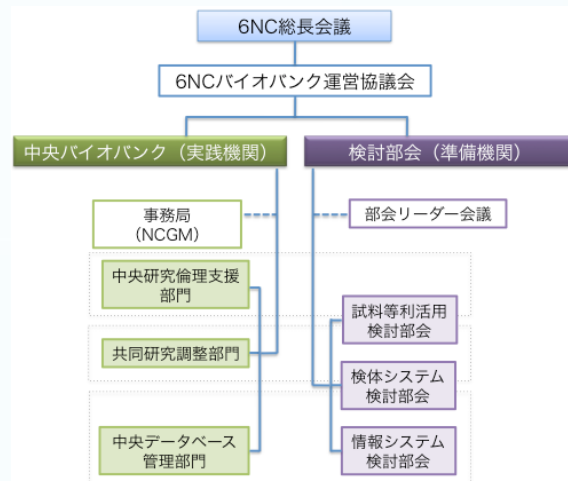
●NCBNの概要



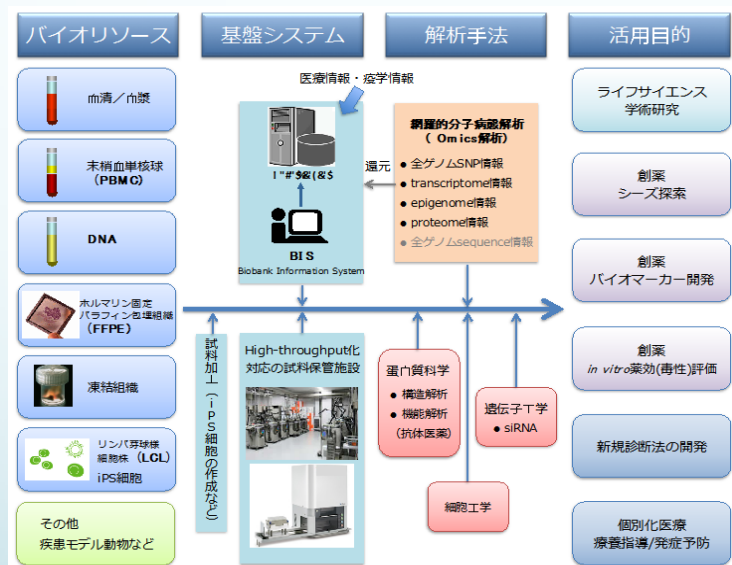
本バイオバンク事業は、ネットワーク型・連邦型の組織形態で運営されます。中央情報データベース管理などの専門家組織を含む中央バイオバンクと事務局が設置され、多施設協力体制でのバイオリソースの収集・活用を推進するために、6NCバイオバンク(NCBN)運営協議会が設置されています。

各NCが主体的に進めるバイオリソース整備の一層の拡充を行うとともに、6NC共通のバイオリソース収集の仕組み「共通プラットフォーム」を構築し、連携する医療機関等とともに幅広い共同研究等の推進を支援する仕組み作りを進めています。

運営体制は、右図の通りで、6NC総長会議の諮問機関としてNCBN運営協議会が設置され、共通プラットフォーム構築の「準備」を「検討部会」が、そして「実践」を中央バイオバンクが行う形です。各部会の検討課題・概要を表に示します。中央バイオバンクには3つの専門部門が設置され、大きく、①中央倫理審査／incidental findingsに対する検討機能、②検体のカタログデータベースの公開、③共同研究・受託研究*等の推進支援(MTA締結、知財関連支援を含む)など、に取り組めます。



●NCBN事業で提供予定のバイオリソース例



本バイオバンク事業では、左の模式図に示す通り、学術研究、創薬研究、新規診断法・個別化医療等の開発研究などのために収集された、様々な生体由来試料を保管・管理し、共同研究等として有効に活用することを目指します。6つのNCは、主に担当する疾患が互いに異なり(がん、循環器疾患、精神・神経・筋疾患、感染症・代謝疾患・免疫異常症、成育疾患、老年病)、各々の専門性を生かしながら、高精度な臨床情報を備えた高品質の試料を収集しています。さらに、複数の機関横断的な収集が可能であり、比較的多数の国民の健康に影響を与える重点疾患として、①がん、②心血管病とその危険因子、③認知症、④アレルギー・免疫、の4群の検体収集に力を入れています。

6NCバイオバンクの保有試料概数(延べ検体数、平成27年4月現在)

6NC	登録者数	総検体数	試料の種別ごとの検体数(総検体数の内訳)				
			DNA	血漿	血清	組織	その他
新規試料群 (包括的同意あり)	33,513	89,942	24,376	24,875	8,405	12,933	19,353
既存試料群 / 包括的同意のない新規試料	35,600	72,532	12,814	4,379	1,712	16,164	37,463

●NCBN事業の目標と現状

【目標】

- NCの使命として、**共同研究**等を通じて、高度先駆的医療(予防・先制医療を含む)の開発を行う。
- 質・量に優れた臨床試料・情報のNC外への**分譲(配布)**を通して、ライフイノベーションに貢献する。

【現状】

- NCBNの**カタログデータベース日本語／英語版**を公開しており、新規収集試料数の概略のウェブ検索も可能。(→これにより、共同研究の機会が生まれやすくなる。)
- **包括的同意のもと、新規に収集**している試料を中心にして、分譲(配布)希望にも対応すべく、説明・同意やMTA、中央審査の手続などを担当部会で取りまとめている。

※ NCBN事業のロードマップを右図に示します。

